所管課	生涯学習部ふるさと交流課

施策の大綱	まちづくりの目標(章)	施策分野(節)	施策
	第3章 元気創造都市	07 市民文化	03 歴史文化遺産を保存・活用する

事業：文化財調査事業

整理番号 0581

目的：市内にある文化遺産の歴史的価値を明らかにするために市内の文化財の調査を行い、文化財保護審議会で適正な保存・継承・活用の方針を検討した。

目標：文化財保存活用にかかる審議を行い計画を策定する。
各種開発等に先立ち埋蔵文化財の発掘調査を実施する。
市内未指定文化財の調査を実施する。

事業費・財源

事業費(決算額)(千円)	13,118
財源内訳 一般財源	11,470
財源内訳 国府支出金	1,648
財源内訳 地方債	0
財源内訳 その他特定財源	0

コスト情報・評価

総コスト(千円)	20,742
内訳 事業費	13,118
内訳 人件費	7,624
内訳 公債費	0
一人あたり(円)	186
世帯あたり(円)	439

総合評価：B

妥当性	A
効率性	A
有効性	B

評価理由：概ね計画に基づいて実施できたため。

貢献度：施策に対する事業貢献度 A　根拠：貴重な市の資産の把握と価値付けを行っているため。

今後の方向性：歴史文化基本構想を策定する中で市内の文化財の総合的把握を行い、保存・継承・活用の方針を定める。

事業優先順位 2　細事業：埋蔵文化財発掘調査事業

整理番号 02

目的：市内に所在する埋蔵文化財を保護する。

目標：開発により滅失する埋蔵文化財に対して、適切な保存及び記録保存を講じる。

事業実施主体	直営	事業開始年度	昭和47年度以前	根拠法令	文化財保護法、「河内長野市開発事業の手続等に関する施行条例施行基準」

事業費・財源

	平成25年度	平成24年度	比較
事業費(決算額)(千円)	12,981	9,994	2,987
財源内訳 一般財源	11,333	8,637	2,696
財源内訳 国府支出金	1,648	1,357	291
財源内訳 地方債	0	0	0
財源内訳 その他特定財源	0	0	0
	0		
	0		

コスト情報・従事職員数

	平成25年度	平成24年度	比較
総コスト(千円)	18,318	14,755	3,563
内訳 事業費	12,981	9,994	2,987
内訳 人件費	5,337	4,761	576
内訳 公債費	0	0	0
一人あたり(円)	164	131	33
世帯あたり(円)	388	313	75
参考 職員数(人)	0.70	0.60	0.10
参考 再任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00

今後の方向性：開発に対して適切な指導を行い、埋蔵文化財の保護に努める。

評価

妥当性	効率性	有効性	対象者
A	A	B	1. 周知の埋蔵文化財包蔵地で土地の掘削を伴う開発を行うもの 2. 周知の埋蔵文化財包蔵地外で500㎡以上の掘削を伴う開発を行うもの

事業：文化財調査事業

市内にある文化遺産の歴史的価値を明らかにするために市内の文化財の調査を行い、文化財保護審議会で適正な保存・継承・活用の方針を検討した。

細事業：埋蔵文化財発掘調査事業

１．埋蔵文化財発掘調査

開発行為から埋蔵文化財を保護するために、周知の埋蔵文化財包蔵地及びそれ以外でも 500 ㎡以上の開発については、開発者負担により開発前に埋蔵文化財の試掘調査、発掘調査を行った。ただし、開発が個人住宅によるもの、もしくは小規模事業者が行うものであった場合は国費及び市費により実施した。

周知の埋蔵文化財包蔵地（文化財を包蔵する土地）内の開発

・民間開発による発掘届（文化財保護法 93 条）　64 件
・公共事業に伴う発掘通知（文化財保護法 94 条）　20 件
・民間開発に伴う発見届（文化財保護法 96 条）　0 件

埋蔵文化財包蔵地以外で 500 ㎡以上の開発

・試掘依頼書　14 件

国費及び市費で実施した埋蔵文化財発掘調査　6 件

２．発掘調査報告書の刊行

平成 24・25 年度に実施した埋蔵文化財発掘調査の成果を収録した「河内長野市埋蔵文化財調査報告書 33」を刊行した。

３．公共事業に伴う埋蔵文化財調査

公共工事に伴い埋蔵文化財発掘調査及び整理業務を下記のとおり行った。

調　査　名　称	内　　容
斎場整備関連事業に伴う埋蔵文化財試掘調査	遺構・遺物なし
地域活性・交流拠点整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	井戸等を検出、瓦器・土釜等が出土
（仮称）下里人工芝球技場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	溝１条、土師器小片が出土

宮の下遺跡

宮の下遺跡の井戸